



# 委員会活動報告 コロナ禍のため市内で調査

## 産業建設常任委員会

### 篠津北東部地区における土地改良事業について

7月19日(月) 農政課

民間事業者を活用した土地改良事業として実施する「篠津北東部地区における土地改良事業について」を調査した。

今回の土地利用計画区域は、約11haであり、その中に農地として約8ha、物流施設として約3haの利用計画がある。

市は、本年4月に連携協定を締結している。企業連携協議会には、株式会社サラダボウルをはじめ、4社が参加しており、今後、「地域・企業連携農村創生プロジェクト」として事業を展開することになる。

篠津北東部地区の農地には、高さ約7mのガラスフィルム製のハウスが建てられ、A1等の最先端技術を導入したトマト栽培が行われる予定である。

この事業のメリットは、耕作放棄地を一定の面積で開発できるとともに、新たな雇用の



創出への期待、また、新たにできる物流施設は、防災機能の充実が予定されており、非常時における避難場所や電源の提供を受けられるところにある。

篠津北東部地区は、様々な分野の企業から注目されているので、歳入確保、また、雇用創出のため、しっかりと取捨選択し、より良い活用方法を検討する必要がある、この事業の推進が一つの課題解決に貢献することを期待して、今後の事業の推移を注視していきたい。

## 総務常任委員会

### 庁内ネットワークシステムについて

7月29日(木) 財政課

国が行っている自治体情報セキュリティ強化の動きを受け、本市の「庁内ネットワークシステムについて」を調査した。

地方自治体では、「三層の対策」により、情報セキュリティの強化を図ることとされている。「三層」とは、「個人番号利用系事務」<sup>エルジーワン</sup>「L G W A N \* 接続系」「インターネット接続系」の三つであり、情報漏えい事案が発覚するまでは一体的に行われていたものを、それぞれ分離して取り扱い、情報セキュリティの強化を図るものである。

本市の情報システムは大きく基幹系システムと情報系システムとの二つに分かれているが、基幹系システムとL G W A N 網は物理的に分離している等の理由から、危機管理においても安全が担保されている。

また、ガバメントクラウドを活用した標準システムの導入により、7年度末までには、特定の共通業務が

標準化される。このことにより、3割程度の財政負担の軽減とともに市民等の利便性や業務の効率性の向上が期待できる。

一方で、業務システムの財政負担やその運用は市民から最も見えにくい部分であるため、情報漏えい対策やサーバの安全管理、クラウド化への危機管理など、情報管理もますます大切なこととなってくると考えられ、今後の事務の取組を注視していきたい。

※L G W A N…総合行政ネットワーク

